

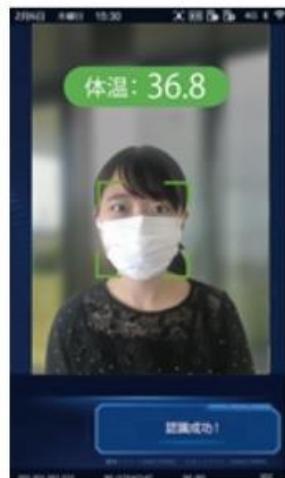
発熱の疑いがある人を効率的に発見！感染リスクを低減します。

課題 社員や来客者の発熱状況やマスク着用状況を入室時に確認したい。



解決案 オプテックス AI検温システムDG-T104シリーズをご提案します。

顔認証システムを活用した体表温ソリューション
利用者のストレスが少ない検温システム



電源1つですぐに運用！

床面に据置だけのスタンドオン型なうえ、付属のACアダプターで電源を取るだけ。大掛かりな工事が不要ですぐに運用可能です！

出時間は約0.2秒！非接触で瞬時に検温

カメラに顔を向けるだけで瞬時に検温。
発熱が疑わしい時は音声と赤色LEDで注意を促します。

マスク着用を自動検知！

マスク未着用者を検知すると、音声と赤色LEDでマスク着用の注意を促します。

■充実した拡張性

→ アクセス拒否



入退室許可リストにいること
と 温度 $\geq 37.3^{\circ}\text{C}$ *

→ アクセス許可



入退室許可リストにいること
と 温度 $< 37.3^{\circ}\text{C}$

*閾値を設定できます。



※壁面取り付けタイプ・自立スタンドタイプをご用意しています。

顔を登録する事により、顔認証も同時に可能です。電気錠と連携する事で平熱者のみのオフィスや施設への入室・入場制限に有効です。

OPTEXのAI検温システムなら人体の温度だけでなく、マスクの着用までもしっかり管理致します！

■ 判定結果イメージ



■ 体温検知

カメラに顔をかざすと体温を自動測定できます。発熱リスクのある人を事前に検知します。

■ マスク検知

体温と合わせて、マスクの着用も自動で判断。着用していない人に音声で警告できます。

■ 入室管理

電気錠との連動で、体温異常やマスク未着用者には、入場ゲートやドアを開けないように制御できます。

■ 労務管理

社員のIDと体温を自動で記録。労務管理が可能です。

検温は一人ずつですが、1分間に20～30人連続検温が可能です。

■ シリーズ共通仕様

モデル	DG-T104
液晶表示	7インチ
測定範囲	30℃～45℃
測定精度/偏差	0.1℃/≤±0.3℃
測定距離	0.2～1m
認証時間	200ms
アラーム	入力×2、出力×1
Wiegand	入力×1、出力×1
カードリーダー	Mifare カード対応
動作環境	-20℃～65℃(屋内、無風)
電源	DC12V
寸法	134×33×305mm
屋外	× (IP54)

なぜ体温を測ることができるか？

自然界の温度が絶対零度 (-273.15℃) を超えるすべての物体は、人間の目には見えない一種の電磁波である「赤外線」を放射しています。本デバイスはターゲットの赤外線を受動的に吸収します。人体表面の赤外線熱放射を検出し、赤外線検出器で「光電変換」を行い「AIアルゴリズム」により人体の体温を算出することができます。額の温度 35～36.5℃ 脇下の温度 36～37℃ 直腸温 36.3～37.5℃

access here for your information
<http://www.s-dream.net>

甲府営業所
055-228-2008

阪和営業所
073-436-4677

京滋営業所
075-325-1129

神姫営業所
078-919-0601

本社
06-6347-1710